

『ぽっとなころころどんぐり』

いわさ ゆうこ/さく 童心社



秋にひろくぬぎのどんぐりは、春や夏、どうなってるの？くぬぎのどんぐりがどうやってうまれ、新しい木に育つのか、迫力あるイラストで紹介。どんぐりクッキーのつくり方、どんぐりを使った遊びなども載っています。



2022年11月のおすすめ絵本

どんぐりのえほん



『どんぐりないよ』

間部 香代/作 ひろかわ さえこ/絵 鈴木出版



どんぐりを探しに出かけた、りすくん。でも、ほんの少ししか見つからず、家でしょんぼりしていると、こぶたくんたちがやってきて…。

『どんぐりころちゃん』



秋になって、木から飛び降りてきた、どんぐりころちゃん。いろいろなどんぐりたちと出会い、いっしょに歌いながら歩いていくと、目の前に、りすが現れました。食べられたくないころちゃんたちは、ころがって逃げ出します。

『どんぐり』

エドワード・ギブス/作 谷川 俊太郎/訳



小さなきいろいどんぐりがひとつ、地面に落ちてころがった。いろんな動物たちがやってきて、食べようとするけれど、どんぐりが「今は食べないで。今にもっとおいしくなるから」と言うので…。

『どんぐりころころ』

おやまへかえるだいさくせん』



どうしたら、どんぐりをお山にかえせるか、お池のなかがちえをだしあい…。「どんぐりころころ」のメロディで、お話がまるごと歌える絵本。

『どんぐり』



どんぐりを食べるリスやネズミ。でも、食べるだけでなく、どんぐりの木にちゃんとお礼もしています。助け、助けられる自然界の営みを描く科学絵本。

『まあちゃんとりすのふゆじたく』

かとう まふみ/作 アリス館



まあちゃんは、集めたどんぐりを木の幹にあいている穴に入れました。まあちゃんだけのひみつの場所です。ところが次の日、どんぐりはなくなっていて…。

『ころわんところころ』

間所 ひさこ/作 黒井 健/絵



秋の公園で、木の上から何かがぽっとな、ころころ。「きゅん。これ、なあに？」すてきな「ころころ」とであったころわんが、ちろわんと一緒にころころ、ころころ遊んでいたら、とげとげボールが落ちていて…。

